



第8回食育活動表彰
農林水産大臣賞

教育関係者・事業者部門【教育等関係者の部】

農林水産大臣賞

佐賀県立伊万里実業高等学校 フードプロジェクト部

[佐賀県：活動期間8年]

フードプロジェクト部の活動

「食で伊万里を元気に」がキーワード

佐賀県立伊万里実業高等学校フードプロジェクト部は、「食で伊万里を元気に」をキーワードに、2015年度から地元食材を活用した商品開発を継続して行っています。活動を通し、地域住民一人ひとりが意識することで、事業系食品ロス削減のみならず、家庭系食品ロス削減にも役立っています。さらに、企業、NPO法人、市、学校、市民が一体となって取り組む新しい食循環システムとしても注目されています。今後も企業等と連携した活動を多く取り入れ、地域への更なる定着を目指していきます。



箸の持ち方教室



開発した商品の販売会の様子

市民調査の結果、地産地消を 実践していない人の割合が約半数

市民調査の結果では、地産地消を実践していない人の割合が約半数を占めており、食品ロス削減や食育の推進など各地域で持続可能な社会を構築する必要性が明確化されました。そこで、私たちは正しい食の循環システムを構築すること、地域住民一人ひとりが参加できる持続可能なまちづくりを行うことを目標に掲げ、これまでの活動をさらに発展させながら、食品ロス削減と食育活動の推進に取り組んでいます。



みんなで調理中



食育紙芝居



食育パネルシアター

フードドライブ、規格外食品を活用 した商品開発、子ども食堂の運営

フードドライブでは、各家庭の余剰な食品を回収し、ひとり親世帯への宅食便や子育て支援へと繋いでいます。また、ニッスイグループと共同開発した「お魚ビスケット」は、卵不使用のカルシウム豊富な栄養機能食品として人気商品となっています。さらに、寄付食材を活用した子ども食堂「学びのKidsレストラン」を立ち上げ、2022年7月より毎月一度開催しています。



商品開発製造実習



学びのKidsレストラン



フードドライブ



児童クラブにお菓子を納品



この度はこのような素晴らしい賞をいただき、ありがとうございます。私たちフードプロジェクト部は日頃から「食で伊万里を元気に！」をモットーに地域とともに活動しています。これからも地域未来を担う子どもたちへ私たちの活動を伝えるとともに、地域一丸となって持続可能なまちづくりができるよう私たちができることを精一杯続けていきます。

佐賀県立伊万里実業高等学校 フードプロジェクト部
山口 優花